

Market Watching

発表日: 2021年3月1日(月)

債券市場の揺らぎは収まるか(マーケットウィークリー)

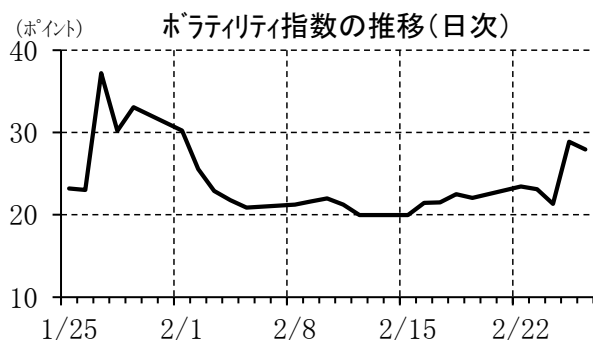
～中央銀行の金利水準感に注目～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL: 03-5221-4521)

【先週の市場動向】

先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
2月22日(月)	ドイツ: ifo景気動向指数 (2月)	92.4	90.5	90.1	ポイント
2月23日(火)	米国: FHFA住宅価格指数 (12月)	+1.1%	+0.9%	+1.0%	前月比
	米国: S&P500ブロッカーズシヤ-住宅価格指数・20都市 (12月)	+10.1%	+10.0%	+9.1%	前年比
	米国: 消費者信頼感指数 (2月)	91.3	90.0	89.3	ポイント
2月24日(水)	NZ: 金融政策委員会	0.25%	0.25%	0.25%	オフィシャルキャシュレート
	米国: 新築住宅販売件数 (1月)	92.3	86.9	84.2	万件
2月25日(木)	米国: 新規失業保険申請件数 (2/20終了週)	730	840	861	千件
	米国: 実質GDP改定値 (10-12月期)	+4.1%	+4.2%	+4.0%	前期比年率
	米国: 製造業受注 (1月)・耐久財	+3.4%	+1.5%	+0.5%	前月比
	・非国防資本財 (除航空機)	+0.5%	+0.8%	+0.7%	前月比
2月26日(金)	日本: 都区部消費者物価指数 (2月)・総合	▲0.3%	▲0.4%	▲0.5%	前年比
	・除生鮮食品	▲0.3%	▲0.4%	▲0.4%	前年比
	日本: 商業動態統計・小売業販売額 (1月)	▲2.4%	▲2.6%	▲0.3%	前年比
	日本: 鉱工業生産指数 (1月)	+4.2%	+4.0%	▲1.6%	前月比
	日本: 住宅着工戸数 (1月)	80.1	79.9	78.4	万戸
	ドイツ: 実質GDP (10-12月期)	+0.4%	+0.9%	▲7.5%	前年比
	米国: 個人所得支出統計 (1月)・実質個人消費	+2.0%	+0.5%	▲0.2%	前月比
	・PCEデフレータ	+1.5%	+1.4%	+1.3%	前年比
米国: シカゴ地区PMI (2月)	59.5	61.0	63.8	ポイント	
2月27日(土)	-				
2月28日(日)	中国: PMI製造業景気指数 (2月)	50.6	-	51.3	ポイント



主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	1.405	+6.9	+37.0	+6.8	1.202	1.037	0.827
日本	0.150	+5.0	+12.0	+24.5	0.075	0.038	0.027
ドイツ	-0.260	+4.5	+27.3	+24.5	-0.419	-0.513	-0.495
豪州	1.917	+48.4	+80.5	+99.9	1.313	1.100	0.959
株価							
NYダウ	30932.37	▲1.8	▲0.0	+14.7	31146	30576	28475
日経平均	28966.01	▲3.5	+1.5	+29.2	29274	27777	24789
ユーロSTOXX50	3636.44	▲2.1	+1.2	+1.6	3643	3578	3374
上海総合	3509.08	▲5.1	▲1.7	+17.4	3587	3494	3326
為替相場							
ドル/円	106.57	+1.1	+2.8	▲3.5	105.11	104.25	105.45
ユーロ/円	128.67	+0.7	+2.1	+7.1	127.21	126.25	124.36
豪ドル/円	82.12	▲1.0	+2.3	+13.6	81.38	79.41	76.80
ユーロ/ドル	1.2075	▲0.4	▲0.7	+11.0	1.210	1.211	1.180
商品市況							
WTI	61.50	+3.8	+16.9	+26.2	57.78	51.13	44.06
金	1728.8	▲2.6	▲6.6	+5.4	1815	1844	1860

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (2/22~2/26) の金融市場は、米国を中心に世界的に長期金利が上昇傾向を強める一方、株価は金利の上昇を嫌気する形で、週末にかけて下落幅を拡大させた。世界的な景気の本格回復期待が高まる一方、米国の追加景気対策が景気の過熱に繋がるとの見方が背景。注目されたパウエルFRB議長の議会証言では、市場の一部で懸念されているインフレリスクについては「一時的なものになる」と片付けた一方で、金利の上昇については「景気回復期待の表れ」として、金利の上昇に歯止めをかけるような内容ではなかったと解釈された。

今週のマーケットは、引き続き金利の動きに注目が集まろう。前週末の米市場では、アジアや欧州の中央銀行が市場混乱の沈静化に動いたと評価されたこともあり、金利は一旦低下した。米金利の急上昇 (= 国債価格の急落) も、巨額の持ち高解消によるテクニカルな要因によるところが大きいとされており、金利の加速度的な上昇は一旦沈静化する可能性がある。一方で、27日に米下院が1兆9000億ドル規模の新型コロナウイルス対策法案を可決したことで、巨額財政支出による景気過熱懸念は一層高まっている。中央銀行が許容できる金利水準感が見えてくれば市場の抛り所となるが、暫くは債券市場の不安定な動きが続くとみられ、株式市場のみならず、各種リスク性資産価格にも影響を与えよう。新型コロナウイルスの感染については世界的な減少傾向が続いてきたが、ここへ来て下げ止まりからやや増加に転じつつある。イギリスを除く欧州各国で感染者が増加に転じているが、感染力が高いとされるイギリスで発見された変異株の感染者割合が高まっており、その影響による公算が大きい。今週も増加傾向を辿るようであれば、景気の本格回復シナリオもやや訂正する余地が出てくる恐れがある。

【今週のマーケット環境】

今週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
3月1日(月)	日本：新車販売台数(2月)・乗用車		—	+8.0%	前年比
	中国：財新PMI製造業景気指数(2月)	★★	51.5	51.5	ポイント
	米国：ISM製造業景気指数(2月)	★★★★	58.9	58.7	ポイント
3月2日(火)	日本：労働力調査・失業率(1月)	★	3.0%	2.9%	
	日本：一般職業紹介状況・有効求人倍率(1月)	★	1.06倍	1.06倍	
	日本：法人企業統計(10-12月)・設備投資(除ソフト)	★★★★	▲3.0%	▲11.6%	前年比
	・経常利益	★★★★	—	▲28.4%	前年比
	豪州：金融政策委員会	★	0.10%	0.10%	RBA政策金利誘導目標
	ユーロ：消費者物価指数速報値(2月)・総合	★	+0.9%	+0.9%	前年比
	・コア	★	+1.1%	+1.4%	前年比
米国：自動車販売台数(2月)	★	1,650	1,660	万台	
3月3日(水)	豪州：実質GDP(10-12月期)	★	▲2.0%	▲3.8%	前年比
	ブラジル：実質GDP(10-12月期)	★	▲1.4%	▲3.9%	前年比
	米国：ADP雇用統計(2月)	★★★★	+150	+174	前月差、千人
	米国：ISM非製造業景気指数(2月)	★★★★	58.7	58.7	ポイント
3月4日(木)	日本：消費動向調査・消費者態度指数(2月)	★	29.7	29.6	ポイント
	マレーシア：金融政策委員会	★	1.75%	1.75%	翌日物政策金利
	ユーロ：小売売上高(1月)	★★	▲1.3%	+2.0%	前月比
	ユーロ：失業率(1月)	★	8.3%	8.3%	
	米国：新規失業保険申請件数(2/27終了週)	★★★★	755	730	千件
3月5日(金)	米国：雇用統計(2月)・非農業就業者数	★★★★	+160	+49	前月差、千人
	・失業率	★★★★	6.4%	6.3%	
	・時間あたり賃金	★★	+5.3%	+5.4%	前年比
米国：貿易収支(1月)		▲671	▲666	億ドル	
3月6日(土)	—				
3月7日(日)	—				

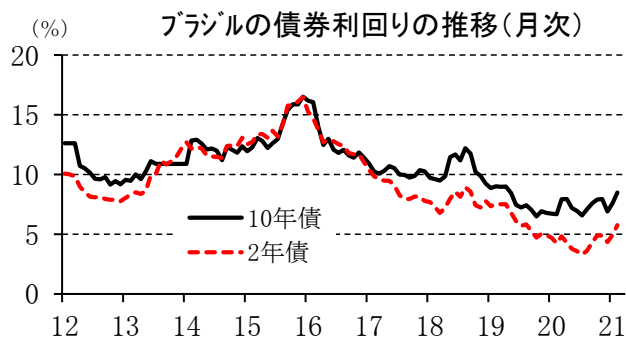
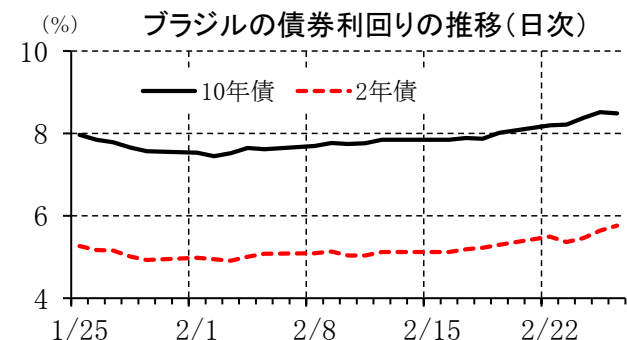
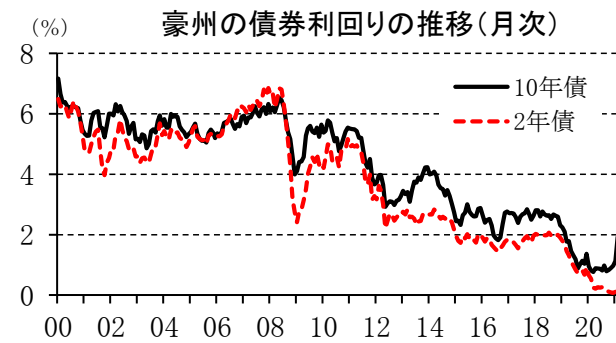
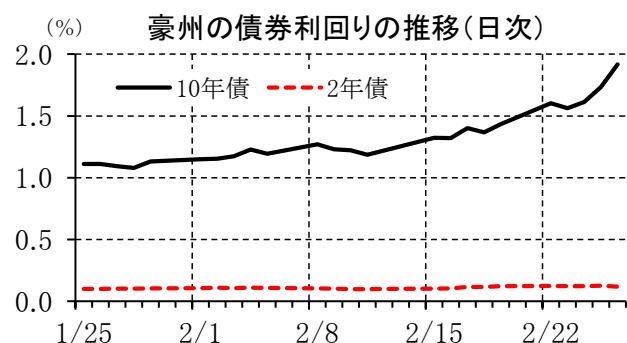
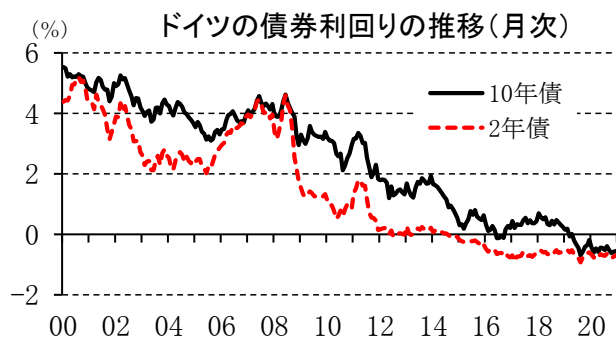
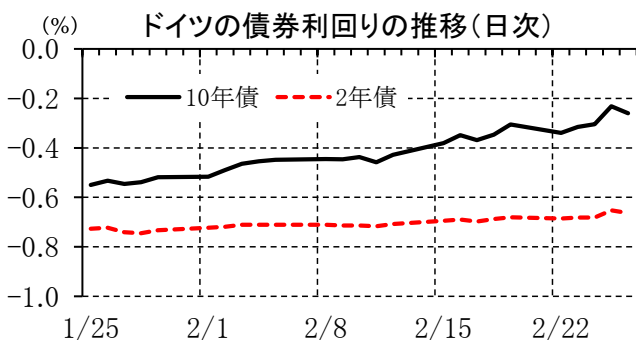
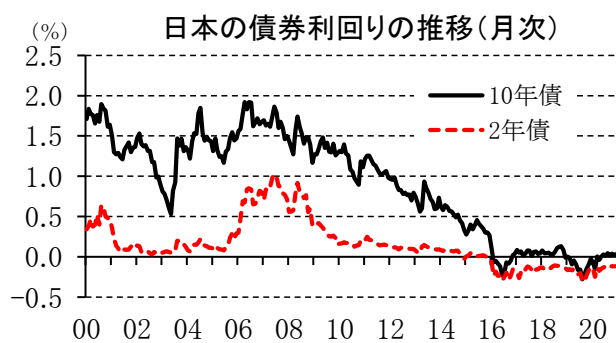
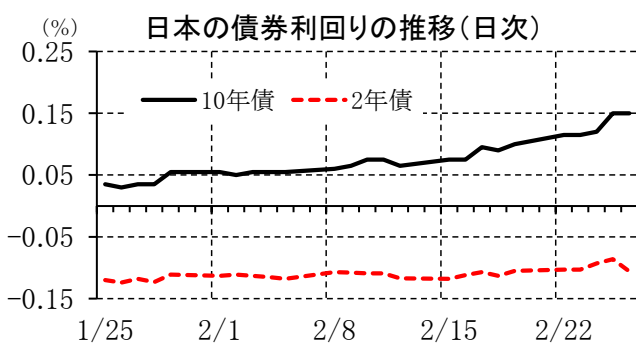
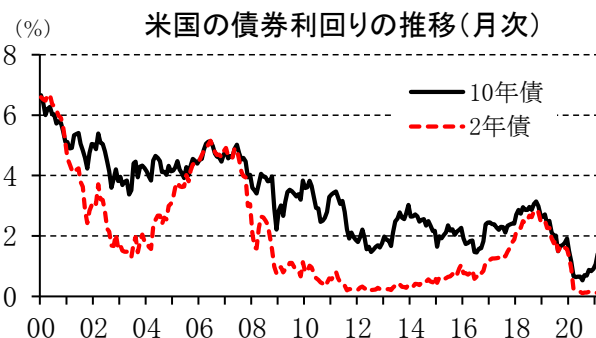
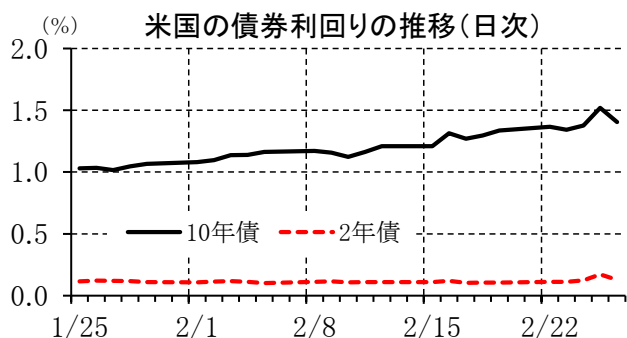
(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

その他の注目イベント・材料

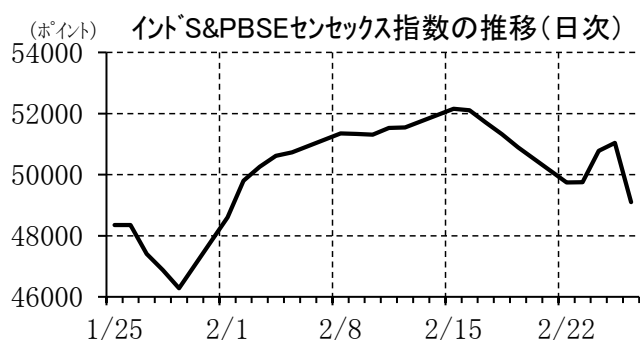
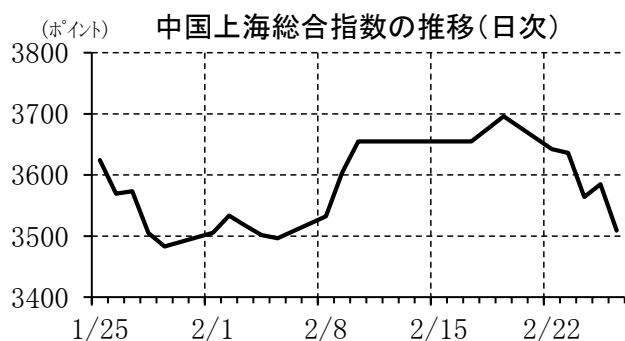
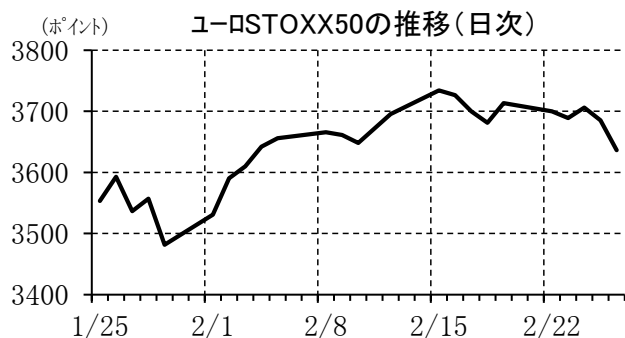
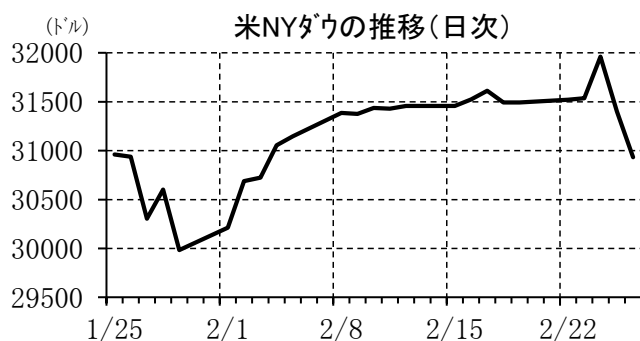
発表日	イベント	注目度	備考
3月1日(月)	米国：NY連銀総裁講演	★	
	ユーロ：テギントスECB副総裁講演	★	
	ユーロ：ラカールECB総裁講演	★★★★	
3月2日(火)	米国：ブレイクモントFRB理事講演	★	
3月3日(水)	日本：片岡日銀審議委員講演		
	ユーロ：ハネックECB理事講演	★	
	ユーロ：テギントスECB副総裁講演	★	
	米国：バーシユアック	★★★★	
ユーロ：シュナヘルECB理事講演	★		
3月4日(木)	OPECプラス閣僚級会合	★	
3月5日(金)	中国：全人代開幕	★★	
3月6日(土)	—		
3月7日(日)	日本：一都三県緊急事態宣言期限		

(注) 各種報道等による。注目度は筆者。

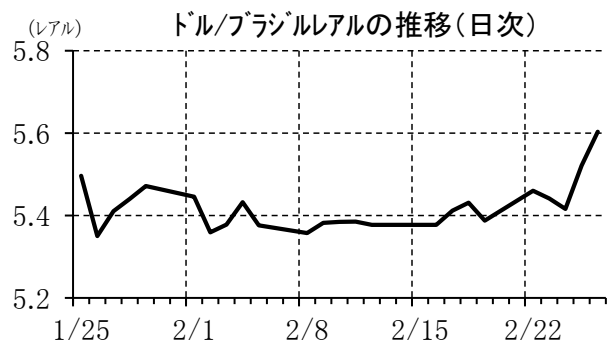
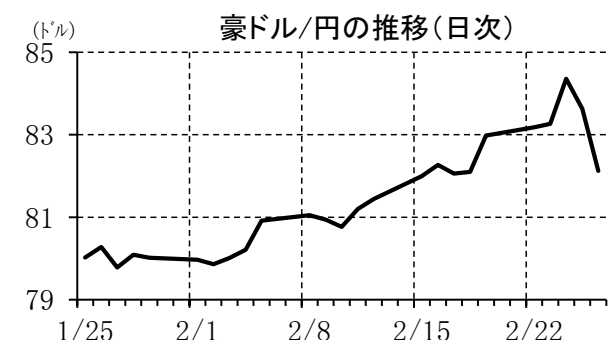
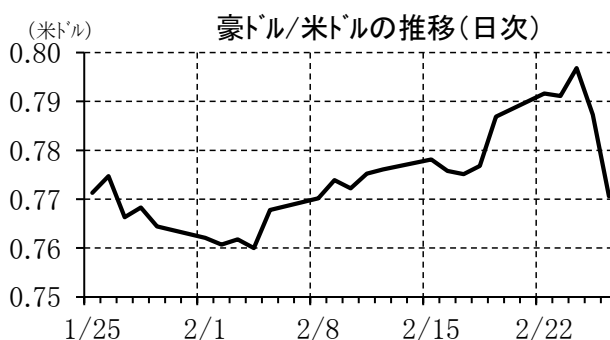
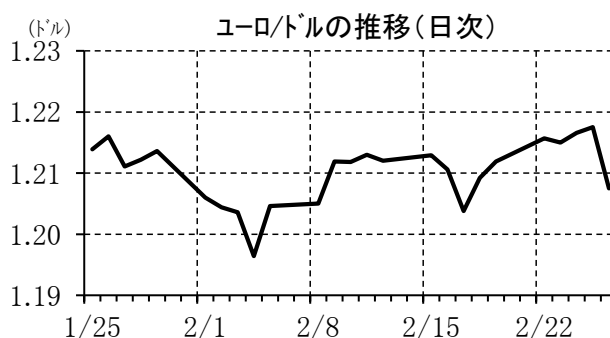
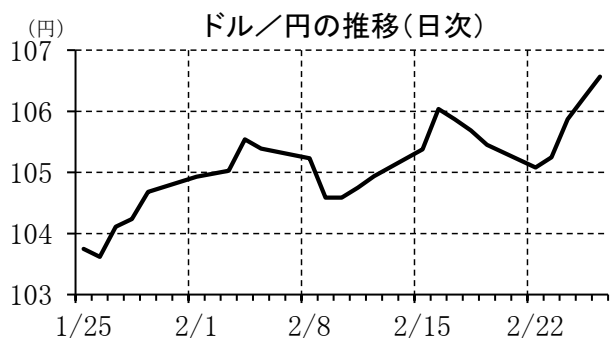
【債券利回り】



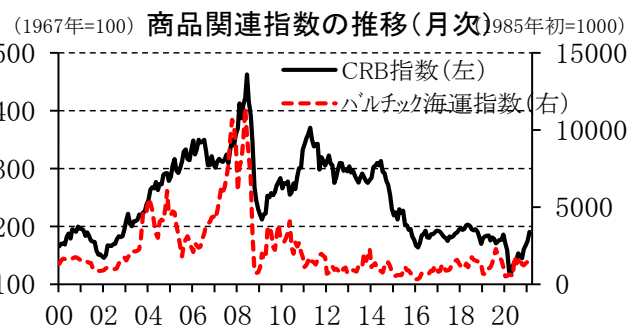
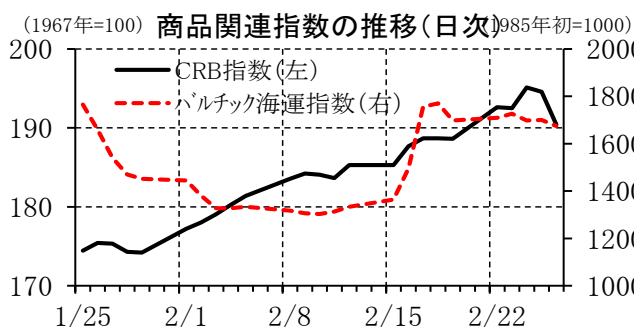
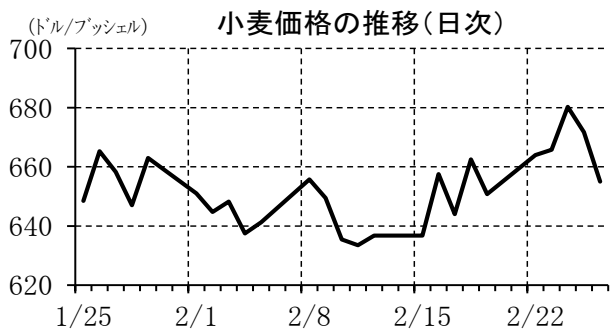
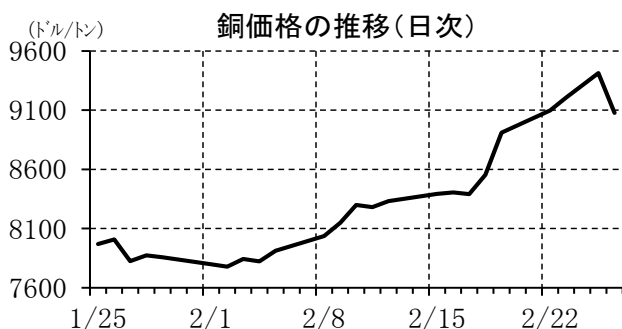
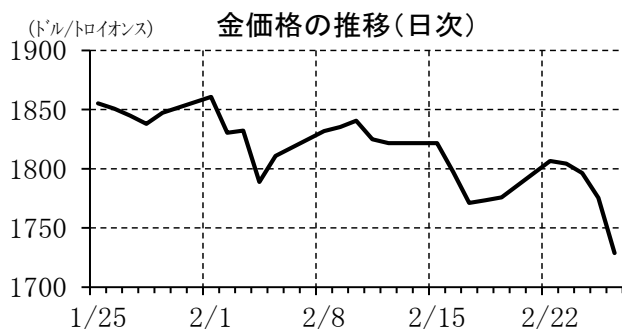
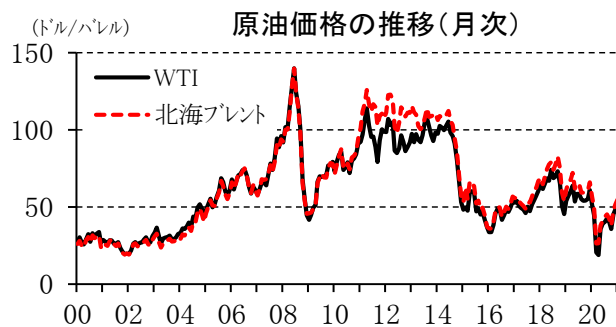
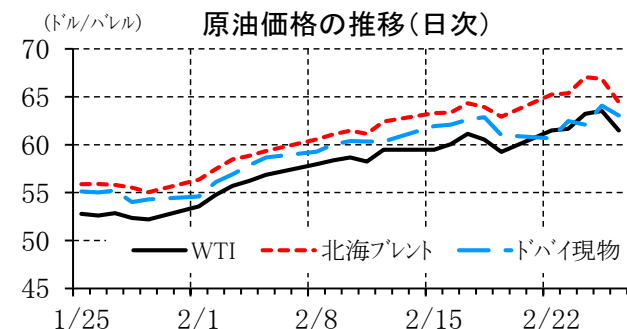
【株価指数】



【為替相場】



【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

